

無痛（減痛）分娩ご希望の方へ

陣痛は赤ちゃんを産むために必要なものです。自然分娩は、最高のものではありますが、陣痛の感じ方には個人差があります。そこで、希望された場合は無痛（減痛）分娩という方法を選択できます。当院の無痛（減痛）分娩には、

① 硬膜外麻酔 ②筋肉内麻酔注射 の2種類があります。

①硬膜外麻酔による無痛分娩について

自然陣痛を待ち、出産にとって有効な陣痛が来た時からこの麻酔を始めます。

腰背部を消毒しチューブを入れ、そこから麻酔薬を注入する方法です。背中からチューブを入れる時に、背中を丸くする体勢をとって頂く必要があります。

②筋肉内麻酔注射による和痛分娩

腕又は臀部に麻酔の注射をすることにより、痛みを和らげる方法です。時期を問わずに使用できます。

【効果】

いずれの方法も1回の注入で1～2時間ほど効果が続きます。最大の痛みを100%とすれば、20～30%位に調整します。

痛みを全く感じない状態ですと、下記にあります起こりうる問題点の発症率が高くなる可能性があるため、少し痛みを感じるくらいが安全と考えております。

【起こりうる問題点】

- ・ 穿刺時の状況により、背骨や神経に異常があると医師が判断した場合や穿刺による合併症発生リスクが高い場合など、分娩医の判断によっては麻酔分娩を実施できないことがあります。
- ・ 低血圧・頭痛・促進剤を使用する確率が高い・吸引分娩となる可能性が若干高い
- ・ 局所麻酔薬の血管内流入による痙攣
- ・ 広範囲に及ぶ麻酔効果・感染・出血・神経障害・異常感覚
- ・ 分娩状況・分娩医の判断によっては麻酔分娩を施行できないことがある。
- ・ 全身管理が自然分娩より複雑になるため、検査、処置が増え、料金がかかる。

※穿刺時の状況により、背骨や神経に異常があると医師が判断した場合や穿刺による合併症発生リスクが高い場合など、分娩医の判断によっては麻酔分娩を施行できないことがあります。

【無痛（減痛）追加分娩料金】

- ① 硬膜外麻酔による無痛分娩 130,000 円
- ② 筋肉注射による和痛分娩 5500 円

石原レディースクリニック